

平成 2 8 年度

「運営に関する計画」  
中間評価全体会

平成 2 8 年 1 0 月 1 9 日（水）

大阪市立豊新小学校

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【視点 学力の向上】</b> ○大阪市小学校学力経年調査において正答率6割を超える児童の割合を70%以上にするとともに、学校アンケートにおける「授業の内容はよく理解できますか」の項目において、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合を90%以上にする。 （カリキュラム改革関連） ○2年間の研究の成果と課題を検証するとともに、国語科を含めて、多くの教科において言語活動の充実を図る授業づくりを進める。 （カリキュラム改革関連） ○英語教育の強化を図るため、全学年でのモジュール学習を実施する。 （グローバル化改革関連） ○ICTの効果的な活用方法ならびに指導方法の研究を行い、授業実践事例を蓄積する。 （グローバル化改革関連） ○全教員が一人1回以上の授業研究を行うとともに、年間6回の全体研修会を実施する。 （マネジメント改革関連）	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<b>取組内容①【区分 個に応じた学習指導】</b> 個別指導やグループ指導、繰り返し指導、習熟度別指導を計画し、基礎的・基本的な内容を確実に定着させる。 （カリキュラム改革関連）	
<b>指標</b> 大阪市小学校学力経年調査において正答率6割を超える児童の割合を70%以上にするとともに、学校アンケートにおける「授業の内容はよく理解できますか」の項目において、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合を90%以上にする。	
<b>取組内容②【区分 言語活動の充実】</b> 2年間の研究を基礎とし、多くの教科で言語活動の充実を図る授業づくりの研究を行う。 （カリキュラム改革関連）	
<b>指標</b> 年度末にまとめる研究の検証	
<b>取組内容③【区分 外国語活動】</b> 英語教育の深化充実を図るため、モジュール学習の教員研修を充実させる。 （グローバル化改革関連）	
<b>指標</b> 3学期より全学年でのモジュール学習を実施する。	
<b>取組内容④【区分 ICTを活用した教育の推進】</b> ICTの効果的な活用方法について指導方法の研究を行い、授業実践例を蓄積していく。 （グローバル化改革関連）	B
<b>指標</b> モデル校の公開授業に参加したり、校内における実践事例を増やすなど、校内での情報共有を積極的に行う。	
<b>取組内容⑤【区分 授業研究を伴う校内研修の充実】</b> 実施計画に基づいて、計画的に研究授業および研修会を実施する。 （マネジメント関連改革）	B
<b>指標</b> 全教員が一人1回以上の研究授業を行うとともに、年間6回の全体研修会を行う。	

【視点 学力の向上】

達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

- ①3 学期に実施する大阪市小学校学力経年調査の結果で評価するが、学校アンケートにおける「授業の内容はよく理解できますか」の項目において、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合は91%で、目標の数値を上回っている。
- ②校内研修を計画通り実施できており、検討・討議を通して授業力向上を図っていく。
- ③3 学期より全学年でのモジュール学習を実施できるよう、研修会を計画している。
- ④ I C T機器の操作や効果的な活用法についての研修を行ったり、モデル校の公開授業に参加したりすることで、I C Tへの意識は高まってきている。また、授業への活用を行っているクラスもある。今後は、校内における授業実践や情報共有を増やしていく必要がある。
- ⑤実施計画に基づいて計画的に研究授業及び研修会を実施している。

年度目標	達成 状況
<b>【視点 道徳心・社会性の育成】</b> ○学校アンケートにおける「命や人権の尊さについて考えたことがある」の項目において、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合を 90%以上にする。 （カリキュラム改革関連） ○学校アンケートにおける「学校のきまりを守って学校生活を送っていますか」の項目において、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合を 85%以上にする。 （カリキュラム改革関連） ○自他ともに認めあい、思いやりのある児童を育成するために、ゲストティーチャー派遣事業により、「いのちと性」の教育事業、子どものストレスマネジメント教育事業、子どもの情報教育事業を実施する。 （カリキュラム改革関連） ○心豊かな子どもの育成のため、芸術鑑賞行事を実施する。（カリキュラム改革関連） ○避難訓練を毎学期に実施するとともに、区や地域と連携した防災教育を実施する。 （グローバル化改革関連） ○個別の課題への対応に関する研修を実施する。（マネジメント改革関連） ○産業界等と連携し、ゲストティーチャーを招いての職業講話を 5・6 年に実施する。 （学校サポート改革関連）	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進 捗 状況
取組内容①【区分 道徳教育と人権教育の推進】 道徳の授業の年間標準授業時間を確保するとともに、人権に関する指導内容の充実を図る。 （カリキュラム改革関連）	B
指標 学校アンケートにおける「命や人権の尊さについて考えたことがある」の項目において、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合を 90%以上にする。	
取組内容②【区分 規範意識の育成】 社会や集団生活でのルールを守ることを日常的に全教職員で指導する。 （カリキュラム改革関連）	B
指標 学校アンケートにおける「学校のきまりを守って学校生活を送っていますか」の項目において、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合を 85%以上にする。	
取組内容③【区分 自尊感情と思いやりの心】 ゲストティーチャー派遣事業により、「いのちと性」の教育事業、「子どものストレスマネジメント」の教育事業、「子どもの情報教育」の事業を実施し、自分や他者の価値を尊重し、相手を思いやる心を育成する。 （カリキュラム改革関連）	
指標 学校アンケートにおける「自分には良いところがあると思いますか」の項目において、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合を 70%以上にするるとともに、6 年生を対象に「いのちと性」の教育事業、「子どもの情報教育」の事業、5 年生を対象に「子どものストレスマネジメント」の教育事業、を各 1 回ずつ実施する。	
取組内容④【区分 心豊かな子どもの育成】 芸術鑑賞行事を実施し、心豊かな子どもの育成を図る。（カリキュラム改革関連）	B
指標 年間計画に従い、演劇鑑賞行事を実施する。	

<p>取組内容⑤【区分 防災教育の推進】</p> <p>災害・防災についての正しい知識と的確な判断力を身につけ、非常時には正しい判断力を持って適切に行動できるように指導する。(グローバル化改革関連)</p>	
<p>指標 各種の想定に対応した避難訓練を毎学期に実施するとともに、区や地域と連携した防災教育を実施する。</p>	
<p>取組内容⑥【区分 問題行動への対応】</p> <p>日頃より問題行動およびいじめを許さない集団の育成に取り組むとともに、事案発生時には、関係諸機関とも連携しながら早期解決に努める。(マネジメント改革関連)</p>	B
<p>指標 校内ケース会議をもち、個別の課題への対応に関する研修会を実施する。</p>	
<p>取組内容⑦【区分 キャリア教育の推進】</p> <p>児童の発達段階に合わせ、系統立てたキャリア教育を実施する。(学校サポート改革関連)</p>	
<p>指標 産業界等と連携し、ゲストティーチャーを招いての職業講話を5・6年生において実施する。</p>	

#### 【視点 道徳心・社会性の育成】

達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>①道徳の授業を中心に、「命や人権」について学習が進めている。学校アンケートにおける「命や人権の尊さについて考えたことがある」の項目において、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合は91%で、目標の数値を上回っている。</p> <p>②学校アンケートにおける「学校のきまりを守って学校生活を送っていますか」の項目において、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合は、95%で、目標の数値を大幅に上回った。全教職員で「学校のきまり」を共通理解し、指導にあたった成果であるとする。しかし、少しではあるが守れていない児童もいるので、個別の指導を継続する必要がある。</p> <p>③学校アンケートにおける「自分には良いところがあると思いますか」の項目において、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合は82%で、目標の数値を上回っている。また、6年生対象の「子ども情報教育」の教育事業を7月19日に実施し、「いのちと性」および5年生対象の「子どもストレスマネジメント」の教育事業は1月に予定している。</p> <p>④今年度は演劇鑑賞の年で、6月27日に「民話芸術座」の方々を招へいし、「雨降り小僧」を上演した。</p> <p>⑤各種の想定に対応した避難訓練（5月11日、8月31日）を実施した。また、区や地域と連携した防災教育を11月5日の土曜授業に実施する。</p> <p>⑥生活指導上の事案・問題について、学年・学校・関係諸機関で連携し、解決に努めている。</p> <p>⑦産業界等と連携し、1月にゲストティーチャーを招いての職業講話を5・6年生において実施する。</p>

年度目標	達成状況
<p><b>【視点 健康・体力の保持増進】</b></p> <p>○全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、昨年度の全国及び市の結果と比較し、本校児童が弱いとされる種目で体力増進を図り、秋の調査結果が春の調査結果より上回る。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○学校アンケートにおける「運動することが好き」の項目において、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合を 80%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○学校アンケートにおける「手洗い・うがいをしっかりとし、健康に気をつけている」の項目において、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合を 90%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○学校アンケートによる「給食を残さず食べている」の項目において、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合を 85%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○毎月 1 回安全点検日を設け、修理・補修の必要な個所の実態を把握し全体で共有化するとともに、早期に改善を行う。 (マネジメント改革関連)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【区分 体力向上への支援】</b></p> <p>体育の授業において、敏捷性や持久力、跳躍力のアップを目指す取り組みをする。 (カリキュラム改革関連)</p>	
<p><b>指標</b> 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、昨年度の全国及び市の結果と比較し、本校児童が弱いとされる種目で体力増進を図り、秋の調査結果が春の調査結果より上回る。</p>	
<p><b>取組内容②【区分 体育科授業の充実】</b></p> <p>運動やスポーツに興味・関心が高まり、楽しみながら取り組めるような授業づくりを工夫する。 (カリキュラム改革関連)</p>	B
<p><b>指標</b> 学校アンケートにおける「運動することが好き」の項目において、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合を 80%以上にする。</p>	
<p><b>取組内容③【区分 健康な生活習慣の確立】</b></p> <p>保健指導や手洗い・うがい強調週間等を通して、児童が手洗いの習慣を身につけられるよう指導する。 (カリキュラム改革関連)</p>	B
<p><b>指標</b> 学校アンケートにおける「手洗い・うがいをしっかりとし、健康に気をつけている」の項目において、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合を 90%以上にする。</p>	
<p><b>取組内容④【区分 食育】</b></p> <p>給食週間や栄養指導を通して、食への関心を高める指導を実施する。 (カリキュラム改革関連)</p>	B
<p><b>指標</b> 学校アンケートにおける「給食を残さず食べている」の項目において、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合を 85%以上にする。 また、給食日誌における残食率の平均を 5 %以下にする。</p>	
<p><b>取組内容⑤【区分 教育環境の整備】</b></p> <p>安全な学習環境の整備に向けて日頃より全教職員で取り組む。 (マネジメント改革関連)</p>	B
<p><b>指標</b> 安全点検票を見直すとともに、毎月 1 回安全点検日を設け、修理・補修の必要な個所の実態を把握し、早期に改善を行う。</p>	

達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

- ① 今後も敏捷性や持久力、跳躍力のアップする指導法を考え、個々の体力向上を図っていく。秋の運動能力については、後日、実施予定。
- ② 体育の学習や運動会を通じて、友だちと協力して運動する楽しさや、その中で味わえる達成感をより一層感じられようにしてきた。これは、特別支援学級やサポーターが、学級担任と連携しながら指導や支援にあたった結果でもある。また、学級遊びを通じて、体を動かす楽しさ、気持ちよさを感じている児童も多くなっている。これらにより、学校アンケートにおける「運動することが好き」の項目において、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合は 88%で、目標の数値を上回った。
- ③ トイレ工事により手洗いをする場所が少なかったにもかかわらず、意識して手洗いをしている児童が多かった。学校アンケートにおける「手洗い・うがいをしっかりとし、健康に気をつけている」の項目において、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合は、90%で目標の数値となった。今後も手洗いうがいを意識できるように継続指導していく。
- ④ 学校アンケートにおける「給食を残さず食べている」の項目において、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合は 93%で、目標の数値を上回った。また、栄養指導や日々の声掛けで、食への関心を持つ児童が増え、残菜も減ってきている。給食日誌における残食率の平均も 1.4%で、目標の数値を下回った。今後も継続指導していく。
- ⑤ 今年度より見直した安全点検票をもとに、毎月一回の安全点検日を設けている。各担任が修理・補修の必要な個所の実態を把握し、早期に改善できている。今後も全教職員で学校環境の整備をしていく。

年度目標	達成状況
<b>【視点 特別支援教育の充実】</b> ○障がいのある全ての子どもの「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」を作成し、学期ごとに見直しを加えながら、個別の指導計画に基づき指導する。 (カリキュラム改革関連) ○障がいのある子と通常学級の子どもの交流および共同学習を推進する。 (カリキュラム改革関連)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【区分 特別支援教育の充実】 「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を作成し、一人一人のニーズに応じて見直しを学期ごとに行う。 (カリキュラム改革関連)	B
指標 「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」に基づいた指導を行う。	
取組内容②【区分 特別支援教育の充実】 支援を必要とする子どもについて全教職員で共通理解を図る。 (マネジメント改革関連)	B
指標 特別支援教育に関する研修会を学期に1回実施する。	
取組内容③【区分 特別支援教育の充実】 教育活動全体を通じて、多様性を尊重する活動や実践を学期に1回行う。 (カリキュラム改革関連)	B
指標 学校アンケートにおける「友達にはみんなよいところがある」の項目において、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合を85%以上にする。	

**【視点 特別支援教育の充実】**

達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
①支援を必要とする児童に個別の教育支援計画、個別の指導計画を作成し、教職員全員、そしてサポーターの支援もできる限り活用し指導を行ってきた。今後も見直しを行いつつ指導を継続する。 ②校内研修会や学年会、支援学級担任との話し合いなどで、全教職員が支援を必要とする児童について共通理解に努めている。 ③共に学ぶ教科の学習、学校行事等で障がいのある児童とともに過ごし、がんばりを認めたり、思いやりの心を育んだりしている。学校アンケートにおける「友だちにはみんなよいところがある」の項目において、「あてはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える児童の割合は96%で、目標の数値を上回った。